

次期「西東京市教育計画」・「西東京市生涯学習推進計画」

現在、教育委員会では、次期「西東京市教育計画」及び「西東京市生涯学習推進計画」いずれも計画期間、平成21年度から平成25年度まで、について、策定作業を進めています。

計画とは

教育計画は、西東京市の教育行政の最上位計画であり、学校・家庭・地域と教育委員会とが一体となり、教育全体のレベルアップや活力ある西東京の教育を築くことを目指し、これからの西東京市における教育行政の基本的な方向性と具体的な施策を示すものです。

生涯学習推進計画は、教育計画に基づき、だれもが主役で輝く地域学習社会の創造を、市民・団体・企業・行政等様々な主体の参画と協働によって実現していくことを目指し、そのために必要な具体的施策を総合的に体系化するとともに、行政が一体となって生涯学習を推進するための指針となる計画です。

計画策定の背景

教育委員会では、平成16年12月に現行の「西東京市教育計画(教育プラン21)」計画期間、平成17年度から平成21年度までを策定し、現在も様々な施策に取り組んでいるところです。一方で、平成19年以降、教育基本法の改正や学習指導要領の改訂が行われるなど、昨今の社会情勢の変化を踏まえた対応をとる必要が出てきました。

そこで、現行の教育計画については、1年前倒しで計画の見直し作業を実施し、西東京市総合計画(後期基本計画)の策定と歩調を合わせて、新しい時代に即した教育計画を策定するこ

といたしました。生涯学習推進計画は、教育委員会では、平成16年3月に現行の「西東京市生涯学習推進計画」計画期間、平成16年度から平成20年度を策定し、現在も様々な施策に取り組んでいるところです。

今回の計画策定については、現行計画の計画期間満了に伴い、西東京市総合計画(後期基本計画)及び教育計画の策定と歩調を合わせて、産業・労働、福祉環境等幅広い行政施策との整合性に配慮した計画の策定を行うことといたしました。

これまでの策定経過

教育計画の策定にあたっては、庁内組織として、教育行政関連事業の担当課長や実務担当職員をメンバーとする「西東京市教育計画策定検討委員会」を設置・開催し、全庁的に検討作業を進めています。

平成20年6月には、西東京市市民参加条例に基づき、市民参加手法を取り入れた計画策定作業を進めるために、「西東京市教育計画策定懇談会」を発足させました。この懇談会は、学識経験者、児童・生徒の保護者、公募による市民、市立小・中学校の校長、社会教育委員、スポーツ振興審議会委員、公民館運営審議会委員、図書館協議会委員、体育協会の代表の計12名で構成されており、様々な観点から意見を出し合い、現在も計画策定に向けた検討を進めています。

また、平成20年7月には、市立小・中学校の児童・生徒とその保護者(調査対象、小学校4年生・6年生、中学校2年生を対象に各学校・各学年1〜2クラス)に対して、教育計画の策定に係る意識調査を実施しまし

た。この調査結果を踏まえ、策定懇談会でも現在議論が進んでいるところ。生涯学習推進計画は、計画策定の庁内組織として、生涯学習関連事業の担当課長をメンバーとした「生涯学習連絡調整会議」、実務担当職員をメンバーとした「職員部会」を設置し、全庁的に検討作業を進めています。

また、教育計画と同様に、西東京市市民参加条例に基づき「西東京らしさ」や「市民の声」を踏まえた施策の検討を進めるため、策定過程への市民参画組織として「西東京市生涯学習推進計画策定懇談会」を6月に発足させました。この懇談会は、学識経験者、学校教育関係者、社会教育・スポーツ活動関係者、保健・福祉活動の関係者、NPO・ボランティア団体の関係者及び公募による市民の計10名で構成されており、多様な視点から西東京市の生涯学習推進のための方策について検討しています。

さらに、多くの市民の方々のニーズや要望をできる限り施策に反映するため、平成20年7月から8月にかけて、市民意識調査と市内の学習活動団体へのグループインタビューを実施しました。なお、平成20年11月には、保谷駅前公民館と田無駅前アスタビルで、オープンスタイルでの市民の方々の意見交換会を行いました。西東京市の生涯学習推進に対する幅広いご意見をお伺いします。

生涯学習に関する市民意識調査の主な結果
全体の9割以上が「生涯学習」という言葉を聞いたことはあるとし、半数以上が「生涯学習」について自分なりのイメージを持つています。

活動の内容
今、活動している人の学習内容の割合は「健康・スポーツ」、趣味的なもの、「職業上必要な知識・技能」、「語学・コミュニケーション」の順となっていますが、これらの活動はいずれも「今はしていないが、今後はしてみたい」とした割合でも高い活動内容になっています。

今後の計画策定スケジュール

教育計画・生涯学習推進計画
これまでは、各種意識調査や

「市からの情報提供の拡充」が最も多く、「生涯学習情報の提供・相談」で利用したいサービス内容としては、「市のホームページを使った生涯学習の情報提供サービス」が半数以上で最も高く、次いで「公民館や図書館などの生涯学習の情報提供サービス」となっています。

生涯学習をさらに普及させていくために重要だと思ふことは、「市からの情報提供の拡充」が最も多く、「生涯学習情報の提供・相談」で利用したいサービス内容としては、「市のホームページを使った生涯学習の情報提供サービス」が半数以上で最も高く、次いで「公民館や図書館などの生涯学習の情報提供サービス」となっています。

西東京市教育計画に関すること
042(438)4070
教育企画課

西東京市生涯学習推進計画に関すること
042(438)4079
社会教育課

教育委員が小学校で授業をしました！

宮田清蔵西東京市教育委員が9月4日、本町小学校の6年生を対象とした授業を行いました。授業ではまず、地球温暖化の現状と対策についてビデオを視聴し、続いて宮田委員の所属する新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が推進している太陽光発電を実際に体験するために、ソーラーカーを作りました。

電気通信大学の学生ボランティアによる手助けもあり、子供ひとりひとりが自分のソーラーカーを完成させることができました。光を当てると動き出すソーラーカーに驚きとよるこびの声が上がります。



授業をする宮田教育委員



ソーラーカーが動いた！

実施校が増えました

緑のカーテン

今年4月から保谷・保谷第一・谷戸・東伏見・碧山・芝久保・本町・住吉・けやき小学校で始まった「緑のカーテン」も、夏前から徐々に蕾みをつけ始め、6月中旬頃には、大きく高く育ち、素晴らしい「緑のカーテン」が各学校に出来ました。

その姿は、まるで児童達の努力と優しさに応えているかの様に、悠悠と校舎に陰を落とし、暑さから児童を守っている様でした。

教室の外と内との温度差は、約2〜4あり、快適な空間を作り出していました。(写真は住吉小)

学校運営課
042(438)4072



校庭を芝生にしました

今年、東伏見小学校校庭の一部に約260㎡の芝生化を実施いたしました。7月初旬に芝を張り、夏休みから約2ヶ月の養生期間を経て9月下旬から開放

しておりますが、裸足で楽しそうに芝生の上を走り回る児童の姿が見受けられます。今後は、芝生の育成・維持管理方法を専門家のアドバイスを受けながら、学校・保護者・近隣の皆様の協力の下に東伏見小の芝生を育てていきたいと考えております。

学校運営課
042(438)4072



芝生化前



芝生化後